

スマイル Smile

みつかる
つながる
ゆたかになる

Vol. 7
2014 秋



Interview **くらしにスパイス**

ピースフルエイジングを目指そう

素敵に歳を重ねるために、 バランスの良い口腔を

連載！入門

そば編 第3回

美味しく食べて健康に

コミュニケーションスペース

ふれあい TeaTime



まちたび宮城
仙台市太白区秋保エリア

協会通信

ピースフルエイジングを目指そう

素敵に歳を重ねるために、 バランスの良い口腔を

矯正歯科という言葉自体は知っていても、実際にどんな事を目的にどんな治療を行うのかあまり良くわからないという人も多いのではないのでしょうか。矯正歯科はお口の中のバランスを整え、口腔環境を改善することを目的としていますが、この治療は身体のバランスにも影響することがあります。今回は公益社団法人日本矯正歯科学会の専門医である曾矢矯正歯科クリニックの曾矢猛美先生に、矯正歯科の基本的な所を聞いてみました。

健やかに老いるために

——矯正歯科というと、具体的にはどんなことをするのですか。

「ピースフルエイジング」という言葉があります。健やかに老いる、年齢を重ねていくということを意味する言葉です。ピースフルエイジングを実現するためには、口腔の健康維持が必須です。

——健やかに老いるために口腔の健康維持が必須なのはなぜでしょう。

日本歯科医師会では、80歳で20本以上の自分の歯を保とうという「8020運動」を展開しています。ある調査で達成者の口腔内を調べたところ、受け口など極端に歯並びの悪い人はいませんでした。逆に、元々歯並びの悪い人は加齢とともに「咬合崩壊（咬み合わせが失われる）」のリスクが高まります。老年期の大きな楽しみは食事であったり、食事での会話であったりと、口元がカギを握っています。老いてなお社会的で健やかであるためには口腔バランスの獲得が非常に大切なのです。

——なるほど。そして矯正歯科の役割とは。

こうした咬合崩壊のリスクを減らすために、上・下顎骨間の調和、つまり上あごと下あごのバランスをとり、また顎骨内に

おける歯の排列を整えることによって、バランスの良い歯並びを獲得していくことにあります。

——矯正歯科にはどんな人がやってくるのですか。

子どもから大人まで様々に来院します。子どもと大人では矯正治療の与える効果や影響の質が違いますので、治療方法にもその違いは反映されています。

悪い歯並びは加齢で悪化する

——具体的にはどんな治療を施していくのでしょうか。

まず子どもの矯正治療の場合は、まさに成長中で骨も柔軟な時期の子どもたちに、顎骨成長をなるべく利用しながら口腔環境を整える第一期治療というものがあります。一方で成長が止まって骨がしっかりとしてくる顎骨成長終了期には同じ治療方法は出来ませんので、第二期治療へと移行します。子どもの矯正治療はこのように「二期分離型ガイドライン」というものに沿って咬合管理計画を立案していきます。

——では大人の場合は。

大人の矯正治療の場合は、患者さんがそれぞれにお持ちの主訴をいかに改善するかの一点に尽きます。口腔バランスの改善は審美的改善、つまり見た目の改善に直接つながりますので、その効果を期待して20歳代で矯正治療を受けられる方も多くやってきます。さらに、加齢によって悪い歯並びは一層悪化していきますから、最近では40歳代以降に矯正治療を受けられるという患者さんも増加しています。

公益社団法人 日本矯正歯科学会 専門医・認定医・指導医
曾矢矯正歯科クリニック

曾矢 猛美

1975年 東北大学歯学部卒業

1988年 曾矢矯正歯科クリニック開設

現在 日本矯正歯科学会 代議員・医療問題検討委員会委員

日本顎変形症学会 評議員

東北矯正歯科学会副会長



——実際に来院された皆さんに、矯正歯科はまず何を診て、どんな指導や治療につなげていくのですか。

まずは患者さんの口腔内がどのような状態にあるか検査をします。検査では上・下顎骨のバランスや歯列の状況を診るためにレントゲン分析や模型分析を行います。大人の場合では治療ゴールを明確に把握するために、歯型をとったあと治療後の歯並びを想定したセットアップモデルを作成します。そして例えば叢生（そうせい・凹凸歯）の場合、永久歯を抜歯するのか、あるいは非抜歯でも排列できるのかを診断します。上・下顎骨のバランスが三次元的にアンバランスな場合であれば、外科的矯正治療を施すことも考慮します。

——外科的治療ですか！矯正歯科というと、歯にプレースを付けるイメージでしたが、それだけでは無いんですね。

矯正治療の目標は口腔内のバランスを獲得し、加齢による口腔崩壊のリスクをなるべく軽減することにあります。したがってなるべくベストな治療ゴールを設定し、妥協的ゴールは排除するように患者さんに提示し説明をしていきます。

——「外科的矯正治療」と聞いて驚かれる患者さんもいらっしゃるのではないですか。

そうですね、外科的矯正治療適用となった場合、「手術まで本当に必要なの？」という質問を受けることがあります。しか



し無理な歯の移動はかえってマイナス側面を増加させることも多いのです。

——治療の手順というのはどういうものなのですか。

歯科矯正治療は、歯の位置を動かして矯正することから「動的矯正治療」と言います。一般的な矯正治療の手順は、歯にプレース（マルチブラケット装置）をセットし、弱く持続的な力で矯正していきます。これに必要とされる期間は2年前後となっています。その後は後戻りを防ぐため保定を行います。保定期間は矯正治療期間とほぼ同じ程度です。外科的矯正治療の場合にも、術前にプレースで整えてから行い、術後もプレースでリハビリ的な矯正を行います。

まずはかかりつけ医に相談を

——これから矯正歯科に通ってみようと考えている人に、アドバイスをお願いします。

矯正治療で保険が適用されるのは、顎変形症（外科的矯正治療）と口唇口蓋裂（ミツクチ）に代表される先天性異常の方が対象になります。その他の場合は保険適用外治療になってしまうのが現状です。ご自身の状態が保険適用になるのか、適用外なのかなど分からないことがある場合は、医療機関で相談していただくことが一番の近道です。とはいえ、いきなり見知らぬ先生に聞くのは気が引けるでしょうから、まずはかかりつけの歯科医に矯正相談をされるとよいでしょう。

——最後に読者にメッセージをお願いします。

50歳代後半で外科的矯正治療を受けた男性の患者さんは、治療後のインタビューでその効果について下記の3点を挙げました。

- ① 慢性頭痛から解放された。
- ② 歯並びを他人と比較し、悲観することがなくなった。
- ③ 今後の人生を、よりポジティブに生きていけると感じられるようになった。

自信が持てる歯並びの獲得は、より一層の豊かさに満ちた人生を手に入れることと同じではないかと思います。口元が気になられる場合は、お気軽に私たち矯正歯科医に相談していただくことをお勧めいたします。

——ありがとうございました。

一般財団法人宮城県予防医学協会広報機関誌

みっかる
つながる
ゆたかになる

スマイル
Smile

Vol. 7
2014 秋

Interview **くらしにスパイス**
ピースフルエイジングを目指そう

**素敵に歳を重ねるために、
バランスの良い口腔を**

連載！**入門**
そば編 第3回
美味しく食べて健康に

まちたひ宮城
仙台市太白区保元エリア
協会通信

コミュニケーションスペース
ふれあいTeaTime